

前回委員意見に対する考え方について

	主な意見	ご意見に対する本市の回答及び考え方
1	<p>(令和3年度上半期 区役所・相談支援室の取組み状況について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターへのアンケートで、『医師より薬剤師の方が在宅医療に関する理解がない』という結果について、現状、薬剤師はあまり在宅医療と関係していないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府薬剤師会：宮田委員よりご説明いただきます。
2	<p>(令和3年度上半期 区役所・相談支援室の取組み状況について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携支援コーディネーターに、介護支援専門員を対象として、連携の取り方や相談事例等について各区単位で研修をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月開催の合同研修会で周知を行なった。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月8日に大阪市社会福祉研修・情報センターにおいて、広く一般のシニア世代を対象として『ACP』をテーマにいきいきライフセミナーを開催するため、周知にご協力いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康局から関係各所へ周知を行った。 ⇒新型コロナウイルス感染拡大により開催延期
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域診断で抽出された課題を、今後どのように共有し、発展させて活用していくのか教えていただきたい。 ・区の推進会議で取り上げられた地域診断に基づいた課題や取組み、また今後の活動をどのようにしていくかについて、本会議へも報告をいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区においては、推進会議等で医療・介護関係団体等と地域における現状を把握したうえで、強みや弱みを分析し、課題を抽出、課題解決に向けた取組みを検討、実施していく必要がある。その結果、評価・改善を繰り返すことで、PDCAをまわしながら、めざすべき将来像を共有する必要があると考える。 ・各区における状況を確認し、次回推進会議で取組みについてご報告させていただく。
5	<p>(令和3年度 医療施設等アンケート調査の実施状況について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院では、薬剤師の働きが地域医療連携の調整が間に入ることによって患者さんを在宅へ帰すにあたり、直接形となって現れにくいと感じた。 ・今後、病院薬剤師やその他専門職の退院支援の関わり方を評価したい場合は、調査項目を検討した方が良いと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府薬剤師会：宮田委員よりご説明いただきます。